

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公表番号】特表2003-521839(P2003-521839A)

【公表日】平成15年7月15日(2003.7.15)

【出願番号】特願2000-614639(P2000-614639)

【国際特許分類】

|        |      |           |
|--------|------|-----------|
| H 04 Q | 7/38 | (2006.01) |
| H 04 M | 3/00 | (2006.01) |
| H 04 M | 3/48 | (2006.01) |
| H 04 Q | 7/34 | (2006.01) |

【F I】

|        |      |         |
|--------|------|---------|
| H 04 B | 7/26 | 1 0 9 B |
| H 04 M | 3/00 | B       |
| H 04 M | 3/48 | Z       |
| H 04 B | 7/26 | 1 0 6 B |

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年5月29日(2007.5.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0001

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、無線通信システムに関する。特に、本発明は有線ふくそうによる高無線煩雑時呼試行(B H C A)を緩和するためのシステムおよび方法に関する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0002

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0002】

【従来の技術】

無線通信システムは搜索アプリケーション、救出アプリケーションおよびビジネスアプリケーションを含む種々の過酷な要求をするアプリケーションに使用される。そのようなアプリケーションは、最小の量の無線ネットワークリソースを使用しながら一日のうちの最繁時に有線ネットワークへの呼を効率よく送ることのできる信頼できる通信システムを必要とする。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0003

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0003】

無線電気通信システムは、1つ以上の基地局と通信する複数の移動局(例えば固定無線電話または移動電話)により特徴づけられる。移動局により送信される信号は基地局により受信され基地局コントローラ(B S C)に中継される。B S Cは次にその信号を他の基

地局、移動体通信網向交換機(M S C)あるいは直接公衆電話交換網(P S T N)に送る。同様に、信号は、P S T Nから基地局およびM S Cを介して移動局に送信するようにしてもよい。P S T Nはしばしば陸線ネットワークまたは有線ネットワークと呼ばれる。有線ネットワークにおいて、呼は無線回線を介して無線で送られるよりもむしろワイヤを介して陸上を介して送られる。

#### 【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 4】

各基地局はセルと呼ばれる限られた地理学上の領域を支配する。一般的に、無線電気通信システムのサービスエリアは複数のセルに分割される。移動局が第1のセルから第2のセルに移動すると、第2のセルに相關する新しいシステムリソースを移動局に割当てるためにハンドオフが行われる。

#### 【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 5】

無線ネットワークは、電話の使用量がピークに達した期間に適応するために十分なリソースを維持しなければならない。陸線のふくそうはしばしば無線リソースに重い負担をかける。例えば、無線ネットワークを介して有線ネットワーク上の電話に試みられた呼は呼が接続される前にいくつかの試みを必要とする。一日の最も忙しい時間に無線ネットワークと有線ネットワークとの間の呼を完了するのに必要な試みの平均数は最煩時呼試行(B H C A)として知られている。一般に、無線ネットワークは呼を完了するために、必要なB H C Aに順応するために十分な無線リソース、すなわち帯域、ソフトウェアおよびハードウェアを持たなければならない。

#### 【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

呼を発生する無線ネットワークは、有線のふくそうによる電話の呼び出し毎にリソースを供給しなければならない。リソースの供給は極めて非効率的でコスト高である。インド市場のような市場において、有線ふくそうの期間有線電話への呼を確立するのに必要な余分な電話のかけなおしに適応するために無線ネットワークインフラストラクチャの容量が非常に拡大される。

#### 【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

#### 【課題を解決するための手段】

この技術の必要性は、本発明の有線ネットワークに呼を成功裏に送るのに必要な無線電気ネットワーキリソースを低減するためのシステムにより解決する。このシステムは無線ネットワークに接続された無線パーティから発生された呼を有線ネットワークに接続され

た有線パーティに送るための第1の機構を含む。第2の機構は経路選択のための機構に応答して有線ネットワークがふくそうしているか否か決定し、それに応答して信号を供給する。第3の機構はその信号に応答して呼の待ち行列を選択的に作る。第4の機構は、呼が待ち行列の前部に到達し、有線ネットワークがその呼を受信できるとき無線パーティを有線パーティに接続する。

## 【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】図面

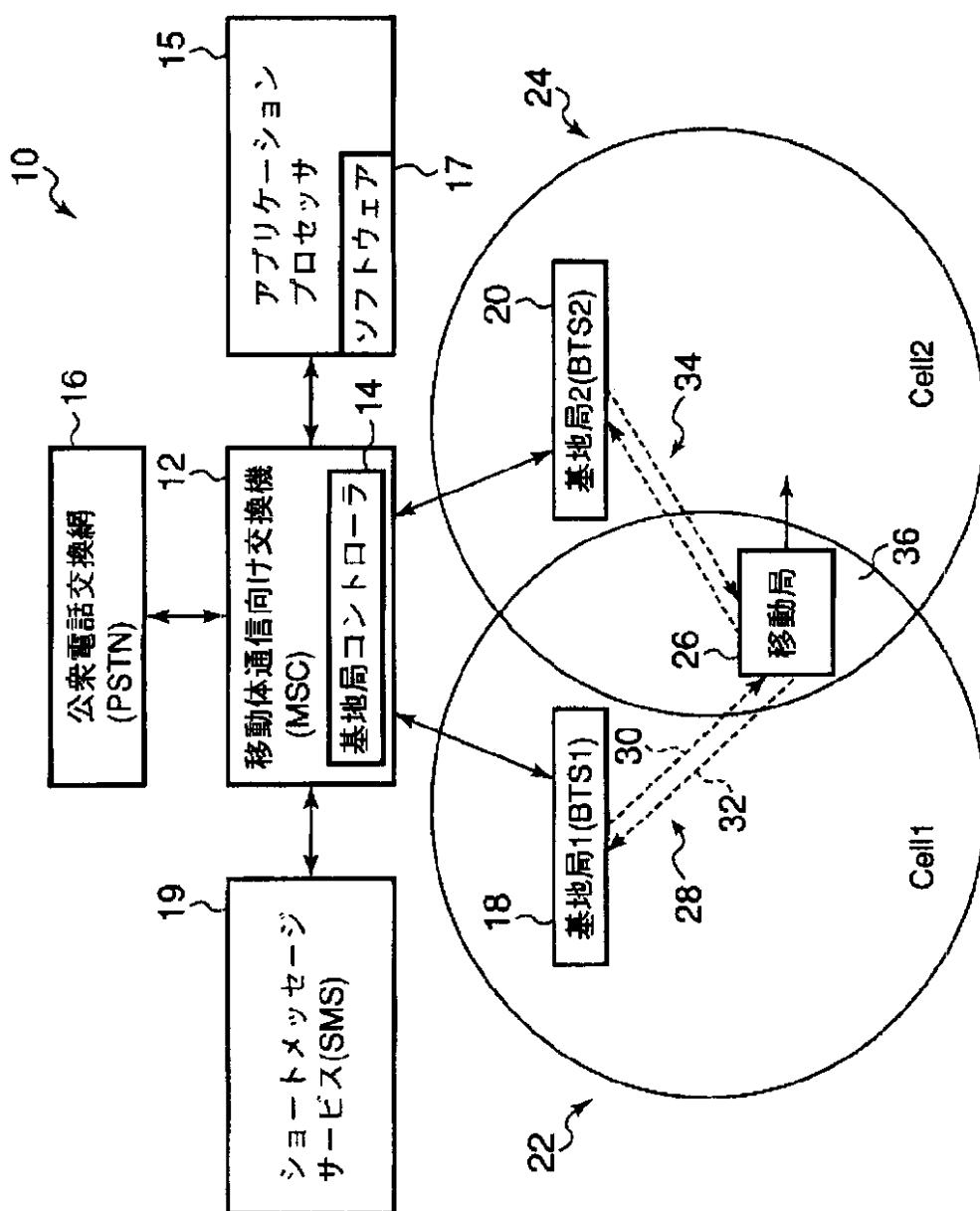
【訂正対象項目名】図1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図1】

図1



## 【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図2】

図2

